



環境リスクPress

2025年6月発行／VOL.57

環境リスク関連ニュース

岩手県)大船渡市山林火災 公費解体始まる(2025/5)

岩手県大船渡市の大規模な山林火災の発生から3カ月が経ち、公費による被災建物の解体作業が5月30日から始まった。今回の火災で市内では226棟の建物が被害を受け、市では所有者の希望に応じて公費での解体を行うこととして、5月12日までに160棟の申請があった。本来半壊の建物は国の補助の対象では無いが、今回は市の財源で解体することにしていて、申請があった建物の内訳は全壊が156棟、半壊などが4棟となっている。

石川県)公費解体の解体費用立替対策で簡素化へ(2025/5)

地震と豪雨の被災地で進めている公費解体においては、目標を上回るペースで解体が進んでいるが、書類が揃わないことによって、立替払いの総額が20億を超えている業者もいるとのこと。元請け業者は下請け業者に対し、協会から支払いを受けてから1か月を目安に代金を支払うが、膨大な書類作成が負担となっており、工事完了から下請け業者への入金までにかかる期間は4か月以上となり、元請け業者が一時的に立て替えているとのことである。この状況を受けて、書類の簡素化について、議会でも議論が始まっている

焼却施設で規準満たさないマスクで作業 新たに1600人(2025/4)

神鋼環境ソリューションは18日、ダイオキシン類が基準値を超えるごみ焼却施設の点検補修工事で、1月に発覚した法定基準を満たさないマスクを使って従業員(270人)に作業させていた問題で、過去5年分を調査したところ、新たに西脇市を含む全国9施設の工事でもグループ内や協力会社の従業員約1600人に同様の状態で作業させていたと発表した。

厚労省)アスベスト裁判 起算点見直し(2025/5)

アスベストを扱う工場で働きじん肺を患ったとして元労働者の遺族が訴えた裁判で、国に賠償を命じた2審の判決について国は上告せず確定。厚労省は被害者が賠償金を請求開始時期を見直し、以前より遅くとも受取れる。

アスベスト関連ニュース

石川県)能登の被災地でアスベスト(2025/5)

2024年の能登半島地震と豪雨で被災した石川県珠洲市の宿泊施設「ホテル海楽荘(休業中)」で、4月中旬に天井の梁から、直径3～10センチほどの石綿の塊が5、6個はがれ落ち、発がん性が高いアスベスト「青石綿」が露出していたことが判明した。県は旅館所有者に対し、飛散防止措置やボランティアの受け入れ中止などを要請した。環境省は昨年2～3月、6市町で被災した建物を対象に石綿の調査を実施。64棟中12棟で露出した石綿を確認し、所有者に飛散防止の措置などを取るよう指導している

大阪府)アスベスト除去作業中に有機溶剤を吸い込み死亡(2025/4)

4月17日、大阪市北区天満の解体工事中のマンションで、作業員から「有機溶剤を吸い込んだ」と通報があり、作業員3名が病院へ搬送されて、女性作業員の死亡が確認された。警察は当時の状況を詳しく調べるとともに、業務上過失致死の疑いも視野に捜査を進める方針としている。

東京都)千代田区 アスベスト除去作業中1人が一時意識不明(2025/3)

27日午後、東京・千代田区神田小川町の解体工事中とみられるビルで、複数の作業員の体調が悪くなり、このうち40代の男性が一時、意識不明になって病院に搬送された。ビルの中ではアスベストを除去するための作業などが行われ、複数の発電機が使われており、一酸化炭素の濃度が高い状態になっていたということで、作業をしていた20代から40代の男性作業員8人の体調が悪くなった。

神奈川県)建設中の倉庫の床部分が落下 作業員1人死亡(2025/5)

川崎市川崎区東扇島で、建設中の7階建て倉庫で、2階の床に使う鉄骨などが落下して10代から70代の作業員5人が巻き込まれ、1人が死亡、4人が重軽傷を負った。

過去の環境リスクPressはこちらから **環境リスク.COM** <https://www.kankyorisk.com>